

2021年6月10日

長野市議会
議長 小泉 栄 正 様

[請願者] 長野地区憲法擁護連合
代表委員 小林 孝 彦
〒380-8545 長野市県町 532-3 県労働会館内

[紹介議員] 布目裕常雄 松本英盛

宮崎崇人 野村博美
勝山吾夫 倉野立人
小泉一真
小林史子
東方みゆき

沖縄戦戦没者の遺骨混入土砂を辺野古新基地などの
埋立てに使用しないことを求める請願

【請願趣旨】

悲惨な沖縄戦で命を落とした戦没者の遺骨が混入した土砂が、今日辺野古新基地建設の埋め立てに使用されようとしています。現在、沖縄県議会をはじめ県内の多くの市町村議会で遺骨混入土砂を使用しないよう求める意見書が決議され、県民もまた大きな関心をもって行方を見守っています。

糸満市摩文仁を中心に広がる南部地域は、沖縄戦で犠牲を強いられた県民や命を落とされた兵士の遺骨が残されており、戦後76年が経過した今でも戦没者の遺骨収集が行われています。

沖縄戦で犠牲になった方々のご遺骨はもちろん、その血が染み込んだ土砂を埋め立て事業に用いることは人道上許されません。ましてや、戦争のために造られる辺野古新基地建設の土砂として使用することは、全戦没者の御霊や遺族を冒瀆する行為であり、認めるわけにはいきません。

「戦没者の遺骨収集の推進に関する法律」により、日本政府が主体となって戦没者の遺骨収集を実施することが重要です。

【請願事項】

貴市議会において、請願趣旨を踏まえ、政府に対し、下記事項を内容とする意見書を提出してください。

- 1 悲惨な沖縄戦の戦没者の遺骨等が混入した土砂を埋立てに使用しないこと。
- 2 日本で唯一、住民を巻き込んだ苛烈な地上戦があった沖縄の事情に鑑み、「戦没者の遺骨収集の推進に関する法律」により、日本政府が主体となって戦没者の遺骨収集を実施すること。

以 上